

学校教育目標

ふるさとに立ち 心豊かで たくましく 生き生きと学び合う 子どもの育成



研究で目指す子ども像

- 自ら課題を見付け、主体的に粘り強く学ぼうとする子ども
- 自分の思いや考えをもち、生き生きと表現する子ども
- 他者の考えを受け取り、対話を通して自分の考えを広げたり深めたりする子ども

研究主題

他者の考えを受け取り、自ら考え、伝え合い、生き生きと学び合う子どもの育成

～共感的・協働的でつながりのある学び合いを目指して～

研究の仮説

児童が主体となって課題解決に向かう授業づくりを工夫し、生き生きと表現する学習集団を育成することで、一人一人が自分の考えをもって伝え合い、共感的・協働的に学び合う子どもが育つのではないかと。

児童が主体となって
課題解決に向かう授業づくり

- ①単元でつきたい力、つかませたい言葉の明確化
- ②児童の実態に合った単元計画や学習課題の設定
- ③既習や経験を生かして考える学習活動

つながりのある学び合いに向かう
対話の充実

- ①児童にとって魅力ある発問や切り返しの吟味
- ②児童の考えを認め、学び合いに生かす机間指導の工夫
- ③「かがやきタイム」の充実

児童の実態

- ・問いを見付け、問いを解決する学習活動に友達と共に素直に取り組んでいる。
- ・自分の考えをもっていても、伝えたり表現したりすることに消極的な児童が多い。
- ・他者の考えに関心をもち、自分の考えと比べながら聞く児童が少ない。

学びを支える共通実践（重点◎）

- ☐ 互いを認め合い伝え合える集団づくり
（◎かがやきタイム・学び方オリエンテーション／◎校内研究会「教材研究・模擬授業」）
- ☐ 学習の約束の徹底
（学習の進め方・あいいうえお反応・つなげる言葉・長木の授業の流れなどの提示・活用）
- ☐ 基礎・基本の定着
（ねばねばタイム・全校漢字テスト・ワードタイム・長木検定・パワーアップタイム・家庭学習の指導と見取り）
- ☐ 言語環境の整備（国語の用語の定着・ICTの活用）
- ☐ 読書の推進
（よむよむリストの提示・読書カードの活用・おすすめの本コーナー）